

水害リスクを踏まえた学校施設の水害対策の推進のための手引 正誤表

訂正箇所		誤	正
ページ	項目・行数		
概要	1 枚目	・学校施設の水害対策の ・状況	・学校施設の水害対策 の状況
概要	2 枚目	流域内の雨水貯留浸水機能の 向上に資する取組の検討	流域内の雨水貯留浸透 機能の向上に資する取 組の検討
10	図 4	流域内の雨水貯留浸水機能の 向上に資する取組の検討	流域内の雨水貯留浸透 機能の向上に資する取 組の検討
14	上から 29 行目の 地理院地図の URL	https://www.mlit.go.jp/road/ kaitu/knk/0403175-1.html	https://maps.gsi.go.jp/
14	下から 2 行目	内在している可能性があるこ とからため、	内在している可能性が あることから、
参考資料 -77	上から 6 行目の図の 赤い点線部分	下図 1 (誤) 参照	下図 1 (正) 参照

下図1 (誤)

＜浸水防止用設備の種類と特徴（破線部：学校施設において特に活用がしやすい設備）＞

	持ち運びタイプ			据え付けタイプ						建具タイプ	その他			
	土のう、水のう等			シート (脱着式)	止水板 (脱着式)	壁収納型		床収納型			上部収納型	防水扉 (片開き、 両開き、 スライド)	ハツ チ型	
	土のう、 水のう	ウォール	チューブ			スイング 式	スライド 式	シート式	浮上式	起伏式	下降式	シャッター		
想定設置場所	場所を選ばず必要な箇所に持ち運び設置可能			建物出入口(流入口)前に設置可能	側壁や支柱のある出入口(流入口)に設置	側壁のある出入口(流入口)に設置	幅の広いゲート等に設置	側壁のある出入口(流入口)に設置	幅の広いゲート等に設置	側壁のある出入口(流入口)に設置	建物出入口(流入口)に設置	屋根、壁のある出入口(流入口)に設置	屋根、壁のある出入口(流入口)に設置	給排気口等に設置
特徴	設置場所と収納場所が別になり、設置に時間、人手、水等を要する場合があります。			軽く持ち運びや設置が容易	頑丈で重量感あり	持ち運び不要、片開き、両開きあり	持ち運び不要、収納壁が必要	持ち運び不要、軽量	持ち運び不要、水の力で浮上	持ち運び不要、頑丈で安定感あり	持ち運び不要、建具の上部に収納	上部を除き高い位置まで止水	上部も含めて止水、水没にも対応	船直方向の穴を塞ぐ
イメージ														
概ねの止水高さ	3段積み で0.45m	0.5m	1段0.5m	0.5m	0.6m	1.0m	設計による	0.9m	設計による	最大2m	0.3m	設計による		-

出典：地下街等における浸水防止用施設整備のガイドライン（平成28年8月 国土交通省水管理・国土保全局河川環境課水防企画室）

※止水板の概ねの止水高さについては、止水板を2、3枚重ねて設置することにより、さらに大きくすることができる製品もある。

下図1 (正)

＜浸水防止用設備の種類と特徴（破線部：学校施設において特に活用がしやすい設備）＞

	持ち運びタイプ			据え付けタイプ						建具タイプ	その他			
	土のう、水のう等			シート (脱着式)	止水板 (脱着式)	壁収納型		床収納型			上部収納型	防水扉 (片開き、 両開き、 スライド)	ハツ チ型	
	土のう、 水のう	ウォール	チューブ			スイング 式	スライド 式	シート式	浮上式	起伏式	下降式	シャッター		
想定設置場所	場所を選ばず必要な箇所に持ち運び設置可能			建物出入口(流入口)前に設置可能	側壁や支柱のある出入口(流入口)に設置	側壁のある出入口(流入口)に設置	幅の広いゲート等に設置	側壁のある出入口(流入口)に設置	幅の広いゲート等に設置	側壁のある出入口(流入口)に設置	建物出入口(流入口)に設置	屋根、壁のある出入口(流入口)に設置	屋根、壁のある出入口(流入口)に設置	給排気口等に設置
特徴	設置場所と収納場所が別になり、設置に時間、人手、水等を要する場合があります。			軽く持ち運びや設置が容易	頑丈で重量感あり	持ち運び不要、片開き、両開きあり	持ち運び不要、収納壁が必要	持ち運び不要、軽量	持ち運び不要、水の力で浮上	持ち運び不要、頑丈で安定感あり	持ち運び不要、建具の上部に収納	上部を除き高い位置まで止水	上部も含めて止水、水没にも対応	船直方向の穴を塞ぐ
イメージ														
概ねの止水高さ	3段積み で0.45m	0.5m	1段0.5m	0.5m	0.6m	1.0m	設計による	0.9m	設計による	最大2m	0.3m	設計による		-

出典：地下街等における浸水防止用施設整備のガイドライン（平成28年8月 国土交通省水管理・国土保全局河川環境課水防企画室）

※止水板の概ねの止水高さについては、止水板を2、3枚重ねて設置することにより、さらに大きくすることができる製品もある。